

## 2024年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年4月19日  
上場取引所 東

上場会社名 株式会社アジュバンホールディングス  
コード番号 4929 URL <https://www.adjuvant-hd.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 中村 豊  
問合せ先責任者 (役職名) 管理本部本部長 (氏名) 惣田 健 TEL 078-351-3135  
定時株主総会開催予定日 2024年6月13日 配当支払開始予定日 2024年6月14日  
有価証券報告書提出予定日 2024年6月13日  
決算補足説明資料作成の有無：有 (録画配信：有)  
決算説明会開催の有無：有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年3月期の連結業績（2023年3月21日～2024年3月20日）

## (1) 連結経営成績

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	4,438	1.4	△1	—	17	△93.6	△99	—
2023年3月期	4,377	△1.1	232	△40.4	265	△33.7	403	2.7

(注) 包括利益 2024年3月期 △93百万円 (—%) 2023年3月期 402百万円 (1.9%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年3月期	△12.49	—	△2.3	0.3	△0.0
2023年3月期	50.46	—	9.2	4.7	5.3

(参考) 持分法投資損益 2024年3月期 一百万円 2023年3月期 一百万円

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	5,277	4,216	79.9	527.07
2023年3月期	5,551	4,487	80.8	561.02

(参考) 自己資本 2024年3月期 4,216百万円 2023年3月期 4,487百万円

## (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年3月期	377	391	△198	2,118
2023年3月期	△321	344	△256	1,528

## 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年3月期	—	0.00	—	24.00	24.00	191	47.6	4.4
2024年3月期	—	0.00	—	12.00	12.00	96	—	2.2
2025年3月期(予想)	—	0.00	—	12.00	12.00		120.1	

(注) 2024年3月期における1株当たり期末配当金については、24円から12円に変更しております。詳細については、本日(2024年4月19日)公表しました「剰余金の配当に関するお知らせ」をご覧ください。

## 3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年3月21日～2025年3月20日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,247	1.5	5	—	5	—	△16	—	△2.03
通期	4,640	4.6	163	—	163	857.8	79	—	9.99

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(注) 詳細は、添付資料14頁「会計方針の変更」をご覧ください。

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2024年3月期	8,043,600株	2023年3月期	8,043,600株
2024年3月期	43,003株	2023年3月期	45,403株
2024年3月期	7,995,945株	2023年3月期	7,999,282株

(参考) 個別業績の概要

1. 2024年3月期の個別業績（2023年3月21日～2024年3月20日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	816	12.6	68	26.0	△182	—	△247	—
2023年3月期	724	△71.8	54	△83.3	81	△76.2	146	△58.0

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期	△31.01	—
2023年3月期	18.28	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
2024年3月期	4,291		3,788		88.3		473.52	
2023年3月期	4,642		4,203		90.5		525.51	

(参考) 自己資本 2024年3月期 3,788百万円 2023年3月期 4,203百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料5頁「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

当社は、2024年4月22日（月）に機関投資家・アナリスト向け説明会を開催し資料は同日開示する予定です。また、その模様及び説明内容（動画）については、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	4
(4) 今後の見通し .....	5
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当 .....	5
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	6
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	7
(1) 連結貸借対照表 .....	7
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	9
連結損益計算書 .....	9
連結包括利益計算書 .....	10
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	11
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	13
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	14
(継続企業の前提に関する注記) .....	14
(会計方針の変更) .....	14
(セグメント情報) .....	14
(1株当たり情報) .....	15
(重要な後発事象) .....	15

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、経済社会活動の正常化を反映して、景気は緩やかな回復基調を維持しました。美容業界においては、外出規制やマスク規制の緩和といったアフターコロナの動きが顕著になる中、個人消費活動に持ち直しの傾向が見られ、当社商品を販売するアジュバンサロンにおいても同様の影響がありました。美容業界のトレンドは、“自分らしく”や“私たちらしく”など、個性を楽しむ時代へと変化する一方、生活用品価格の値上げ継続が見通され、従来のお気に入りを買ってやめたり、トレードダウンする傾向が高まりました。

売上高につきましては、4,438百万円（前年同期比1.4%増）となりました。営業活動もコロナ禍前に戻りつつある中、常態化されたオンラインも活用するなど、より効率的に営業活動を実施し、アジュバンサロン<sup>※注</sup>のサポートを強化したことなどの結果、増収となりました。詳細は区分別売上高の概要を参照ください。なお、アジュバンサロン実稼働軒数は、8,597軒（前年同期比 302軒増）となりました。

利益面におきましては、売上高の増収はありましたが、広告宣伝費、棚卸資産評価損、IT関連費、減価償却費、旅費交通費などの増加及び保険解約損の発生により、営業損失1百万円（前年同期は営業利益232百万円）、経常利益17百万円（前年同期比93.5%減）となりました。また、前年同期に発生した投資有価証券売却益322百万円がなくなったことなどにより、親会社株主に帰属する当期純損失は99百万円（前年同期は親会社株主に帰属する当期純利益403百万円）となりました。

区分別売上高は、売上割戻金を含めて次のとおりです。

区分	前連結会計年度		当連結会計年度		増減額 金額（百万円）	増減率 （%）
	金額（百万円）	構成比（%）	金額（百万円）	構成比（%）		
スキンケア	1,756	40.1	1,642	37.0	△113	△6.5
ヘアケア	2,765	63.2	2,827	63.7	62	2.3
その他	191	4.4	324	7.3	132	69.3
売上割戻金	△336	△7.7	△357	△8.0	△20	—
合計	4,377	100.0	4,438	100.0	60	1.4

(注) 1. ADJUVANT GLOBAL COMPANY LIMITED（連結子会社）、株式会社2C（連結子会社）及び株式会社シアール・プロフェッショナル（連結子会社）の売上高は、「その他」に含んでいます。

2. 売上割戻金は、商品ごとではなく売上高の合計を基準として割戻率を設定しているため、区分ごとに配賦せず合計額で表示しています。

国内海外別売上高は、次のとおりです。

区分	前連結会計年度		当連結会計年度		増減額 金額（百万円）	増減率 （%）
	金額（百万円）	構成比（%）	金額（百万円）	構成比（%）		
国内売上高	4,164	95.1	4,192	94.5	27	0.7
海外売上高	212	4.9	246	5.5	33	15.9
合計	4,377	100.0	4,438	100.0	60	1.4

当社グループは単一セグメントであるため、セグメント別の記載はしていませんが、区別売上高の概要は以下の通りです。

(スキンケア)

スキンケア商品の売上高は、新メイクブランド「rafuna(ラフナ)-point make-」の上市、顧客消費マインドをプラスにするための企画である「MELECTバウンシー」の増量限定商品や美容師向けの「ミスティⅢ」の限定商品など企画を実施しましたが、「rafuna(ラフナ)-base make-」、「MELECTバウンシー」の前年導入期実績を大きく下回ることとなり、当連結会計年度の売上高は1,642百万円(前年同期比6.5%減)となりました。

(ヘアケア)

ヘアケア商品の売上高は、新たなアウトバス・スタイリング剤ブランド「muts hair touch(ミューツヘアタッチ)」の上市、「KASUIプレミアムエッセンス」の上市、前年リニューアル発売をした「Re: >>>BASIC LINE(リベーシックライン)」の限定サイズ企画実施などが牽引し、当連結会計年度の売上高は2,827百万円(前年同期比2.3%増)となりました。

(その他)

ADJUVANT GLOBAL COMPANY LIMITED(連結子会社)の売上高は、新型コロナウイルス感染症の影響が徐々に小さくなり回復基調にあります。株式会社2C(連結子会社)は、ネット広告を計画的に実施し、順調に定期顧客を増やしています。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は324百万円(前年同期比69.3%増)となりました。

※注「アジュバンサロン」

初回に100千円以上の仕入を行い、当社グループが指導する商品の案内方法等を定めたアジュバンサロン契約を締結したサロン(理美容室・エステティックサロン・ネイルサロン・アイラッシュサロン・美容クリニック等)を指します。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の総資産は、前連結会計年度末と比較して274百万円減少の5,277百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末と比較して248百万円増加の3,587百万円となりました。主な変動要因は、現金及び預金590百万円の増加、棚卸資産225百万円の減少、売上債権31百万円の減少などによるものです。

固定資産は、前連結会計年度末と比較して522百万円減少の1,689百万円となりました。主な変動要因は、投資有価証券の減少385百万円、保険積立金の減少96百万円、繰延税金資産の減少30百万円などによるものです。

負債合計は前連結会計年度末と比較して3百万円減少の1,060百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末と比較して30百万円減少の608百万円となりました。主な変動要因は、未払法人税等の減少53百万円、未払金の減少18百万円、買掛金の増加27百万円、賞与引当金の増加14百万円などによるものです。

固定負債は、前連結会計年度末と比較して27百万円増加の451百万円となりました。主な変動要因は、資産除去債務の増加18百万円、リース債務の増加11百万円などによるものです。

純資産は、前連結会計年度末と比較して270百万円減少の4,216百万円となりました。主な変動要因は、親会社株主に帰属する当期純損失99百万円、配当金の支払による減少191百万円、自己株式の処分による増加12百万円などによるものです。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の80.8%から79.9%となりました。1株当たり純資産額は、前連結会計年度末561.02円から527.07円となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べて590百万円増加し、2,118百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前当期純利益15百万円、減価償却費125百万円、保険解約損27百万円、棚卸資産の減少額225百万円、売上債権の減少額31百万円、仕入債務の増加額27百万円、法人税等の支払額95百万円の計上等により、377百万円の収入（前期は321百万円の支出）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、投資有価証券の取得による支出201百万円、投資有価証券の売却による収入597百万円の計上等により、391百万円の収入（前期は344百万円の収入）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払額192百万円の計上、リース債務の返済による支出6百万円により198百万円の支出（前期は256百万円の支出）となりました。

（参考）キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期
自己資本比率 (%)	78.5	80.3	76.3	80.8	79.9
時価ベースの自己資本比率 (%)	136.5	179.0	154.1	141.8	140.7
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年)	1.5	0.1	0.1	—	0.1

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

- （注）
1. いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。
  2. 株式時価総額は発行済株式数をベースに計算しております。
  3. キャッシュ・フローは、連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを利用しております。
  4. 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っているすべての負債を対象としております。また、利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を利用しております。
  5. 2023年3月期のキャッシュ・フロー対有利子負債比率は営業キャッシュ・フローがマイナスであるため記載しておりません。
  6. インタレスト・カバレッジ・レシオは、利息の支払額に重要性がないため記載しておりません。

(4) 今後の見通し

次期につきましては、物価上昇は落ち着きつつあり、春闘による賃上げの動きなどから消費者行動の改善が期待される一方で、金融政策の転換や地政学リスクによる燃料費や光熱水費の高騰がサロン経営に影響を与えるなど先行き不透明な状況が続くと想定しています。

次期売上高につきましては、理美容専売事業においてスキンケア2ラインを上市し、デジタルコンテンツの充実を図りながら伸長に努めてまいります。また、EC事業は、自社サイトによる定期顧客数のさらなる増加やモールECの運用強化など積極的に活動いたします。

販売管理費につきましては、上記新商品のプロモーション費用、新規採用に伴う人件費、IT関連費等の費用が増加する計画となっております。

以上の結果、連結売上高4,640百万円(当期比4.6%増)、連結営業利益163百万円(当期は連結営業損失1百万円)、連結経常利益163百万円(当期比857.8%増)、親会社株主に帰属する当期純利益79百万円(当期は親会社株主に帰属する当期純損失99百万円)を見込んでおります。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、株主の皆様への利益還元を重要な経営課題の一つと考え、今後の事業展開と経営体質の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、経営成績を勘案した安定的な配当を継続して実施していくことを基本方針としております。

上記の配当方針、及び財務体質の状況等を総合的に勘案し、2024年3月期の1株当たりの配当金につきましては、12.00円(年間12.00円)とすることにいたしました。

2025年3月期の配当につきましては、1株当たり配当金を12.00円(期末配当)の予定としつつも、より一層の業績向上を図ることで株主の皆様へ還元できるように安定配当・増配を目指してまいります。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の企業間比較可能性及び期間比較可能性等を勘案し、当面は日本基準に基づいて連結財務諸表を作成する方針であります。

IFRS（国際財務報告基準）の適用につきましては、国内外の諸情勢及び国内の同業他社の適用動向等を踏まえつつ、適切に対応していく方針であります。



3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月20日)	当連結会計年度 (2024年3月20日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,528,011	2,118,760
売掛金	437,657	405,697
商品及び製品	898,279	743,249
仕掛品	79,605	49,283
原材料及び貯蔵品	243,583	203,181
その他	156,299	71,367
貸倒引当金	△3,992	△3,698
流動資産合計	3,339,446	3,587,841
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,180,920	1,208,549
機械装置及び運搬具	66,990	66,990
工具、器具及び備品	327,788	347,640
土地	579,283	579,283
リース資産	53,628	49,692
その他	—	8,463
減価償却累計額	△797,110	△857,306
有形固定資産合計	1,411,500	1,403,312
無形固定資産		
ソフトウェア	39,806	39,847
その他	26,272	13,556
無形固定資産合計	66,078	53,404
投資その他の資産		
投資有価証券	490,498	105,289
長期貸付金	831	1,734
繰延税金資産	118,543	88,476
保険積立金	96,220	—
その他	34,207	43,236
貸倒引当金	△5,730	△5,730
投資その他の資産合計	734,570	233,007
固定資産合計	2,212,149	1,689,725
資産合計	5,551,595	5,277,566

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月20日)	当連結会計年度 (2024年3月20日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	84,251	111,665
リース債務	6,983	7,523
未払金	212,321	193,435
未払法人税等	89,289	35,439
賞与引当金	89,844	104,092
その他	157,298	156,843
流動負債合計	639,988	608,999
固定負債		
リース債務	12,197	23,300
退職給付に係る負債	48,564	46,418
資産除去債務	7,352	25,638
長期未払金	356,345	356,345
固定負債合計	424,460	451,702
負債合計	1,064,448	1,060,702
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	776,580	776,580
資本剰余金	747,694	750,475
利益剰余金	3,012,398	2,720,576
自己株式	△45,341	△32,540
株主資本合計	4,491,331	4,215,090
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△6,794	2,895
為替換算調整勘定	2,609	△1,122
その他の包括利益累計額合計	△4,184	1,773
純資産合計	4,487,146	4,216,864
負債純資産合計	5,551,595	5,277,566

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年3月21日 至 2023年3月20日)	当連結会計年度 (自 2023年3月21日 至 2024年3月20日)
売上高	4,377,402	4,438,221
売上原価	1,461,475	1,578,001
売上総利益	2,915,926	2,860,219
販売費及び一般管理費	2,683,240	2,861,645
営業利益又は営業損失(△)	232,685	△1,425
営業外収益		
受取利息	1,276	1,079
受取配当金	6,283	8,148
受取家賃	1,450	1,200
為替差益	17,831	24,946
貸倒引当金戻入額	700	2,700
助成金収入	—	4,956
雑収入	5,855	5,793
営業外収益合計	33,398	48,824
営業外費用		
支払手数料	228	2,700
保険解約損	—	27,611
営業外費用合計	228	30,311
経常利益	265,855	17,087
特別利益		
投資有価証券売却益	322,689	—
リース債務取崩益	—	7,202
特別利益合計	322,689	7,202
特別損失		
固定資産除却損	331	6,354
投資有価証券売却損	—	2,637
特別損失合計	331	8,992
税金等調整前当期純利益	588,213	15,297
法人税、住民税及び事業税	109,958	89,364
法人税等調整額	74,611	25,797
法人税等合計	184,570	115,162
当期純利益又は当期純損失(△)	403,643	△99,865
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に 帰属する当期純損失(△)	403,643	△99,865

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年3月21日 至 2023年3月20日)	当連結会計年度 (自 2023年3月21日 至 2024年3月20日)
当期純利益又は当期純損失 (△)	403,643	△99,865
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,311	9,689
為替換算調整勘定	381	△3,732
その他の包括利益合計	△930	5,957
包括利益	402,712	△93,907
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	402,712	△93,907
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度 (自 2022年3月21日 至 2023年3月20日)

(単位: 千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	776,580	748,283	2,801,599	△5,833	4,320,630
当期変動額					
剰余金の配当			△192,844		△192,844
親会社株主に帰属する当期純利益			403,643		403,643
自己株式の取得				△52,500	△52,500
自己株式の処分		△589		12,991	12,402
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	—	△589	210,798	△39,508	170,700
当期末残高	776,580	747,694	3,012,398	△45,341	4,491,331

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	△5,482	2,228	△3,254	4,317,376
当期変動額				
剰余金の配当				△192,844
親会社株主に帰属する当期純利益				403,643
自己株式の取得				△52,500
自己株式の処分				12,402
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	△1,311	381	△930	△930
当期変動額合計	△1,311	381	△930	169,770
当期末残高	△6,794	2,609	△4,184	4,487,146

当連結会計年度 (自 2023年3月21日 至 2024年3月20日)

(単位: 千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	776,580	747,694	3,012,398	△45,341	4,491,331
当期変動額					
剰余金の配当			△191,956		△191,956
親会社株主に帰属する当期純損失 (△)			△99,865		△99,865
自己株式の処分		2,780		12,800	15,581
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	—	2,780	△291,821	12,800	△276,240
当期末残高	776,580	750,475	2,720,576	△32,540	4,215,090

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	△6,794	2,609	△4,184	4,487,146
当期変動額				
剰余金の配当				△191,956
親会社株主に帰属する当期純損失 (△)				△99,865
自己株式の処分				15,581
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	9,689	△3,732	5,957	5,957
当期変動額合計	9,689	△3,732	5,957	△270,282
当期末残高	2,895	△1,122	1,773	4,216,864

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年3月21日 至 2023年3月20日)	当連結会計年度 (自 2023年3月21日 至 2024年3月20日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	588,213	15,297
減価償却費	108,574	125,139
特許権償却	275	275
株式報酬費用	11,309	15,141
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△136	△293
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△9,357	14,247
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△3,878	△2,146
長期末払金の増減額 (△は減少)	△28,125	—
受取利息及び受取配当金	△7,559	△9,228
為替差損益 (△は益)	△17,831	△24,946
保険解約損益 (△は益)	—	27,611
固定資産除却損	331	6,354
投資有価証券売却損益 (△は益)	△322,689	2,637
リース債務取崩益	—	△7,202
売上債権の増減額 (△は増加)	△59,770	31,959
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△189,184	225,754
仕入債務の増減額 (△は減少)	△96,499	27,414
その他	△61,489	16,136
小計	△87,819	464,153
利息及び配当金の受取額	7,559	9,228
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△241,415	△95,770
営業活動によるキャッシュ・フロー	△321,674	377,610
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△77,079	△58,515
無形固定資産の取得による支出	△23,907	△4,205
投資有価証券の取得による支出	△900,054	△201,174
投資有価証券の売却による収入	1,273,011	597,702
保険積立金の積立による支出	△7,958	△1,727
保険積立金の解約による収入	—	70,335
その他	80,958	△11,215
投資活動によるキャッシュ・フロー	344,969	391,201
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
リース債務の返済による支出	△10,897	△6,173
自己株式の取得による支出	△52,500	—
配当金の支払額	△193,278	△192,032
その他	△228	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△256,904	△198,206
現金及び現金同等物に係る換算差額	17,548	20,143
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△216,061	590,748
現金及び現金同等物の期首残高	1,744,072	1,528,011
現金及び現金同等物の期末残高	1,528,011	2,118,760

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当連結会計年度の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしました。

これによる連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報)

当社グループは、化粧品の商品企画、研究開発、販売及びこれに附帯するサービス業務を営む単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。



(1株当たり情報)

前連結会計年度 (自 2022年3月21日 至 2023年3月20日)		当連結会計年度 (自 2023年3月21日 至 2024年3月20日)	
1株当たり純資産額	561.02円	1株当たり純資産額	527.07円
1株当たり当期純利益	50.46円	1株当たり当期純損失(△)	△12.49円

(注) 1. 前連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。当連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、1株当たり当期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2022年3月21日 至 2023年3月20日)	当連結会計年度 (自 2023年3月21日 至 2024年3月20日)
1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失		
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△) (千円)	403,643	△99,865
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△) (千円)	403,643	△99,865
普通株式の期中平均株式数(株)	7,999,282	7,995,945

(重要な後発事象)

該当事項はありません。